

虫食いが面白い！桜の木



対象児：4歳児 きく組
作成者：坂本七海
作成日：2022.09.22

○ねらい 季節の変化による自然の面白さや楽しさを知る。



みつけたよ！

こんなところまで
とどくんで～！

はっぱざらざらしてる～

○保育の振り返り

2学期が始まり、すっかり色づいた桜の木を見て「葉っぱも色が変わったね」「もう秋なんよ！」と、季節の移り変わりに気づいた子どもたち。去年よりも知っていることが増え、成長を感じます。黄色や茶色の落ち葉を集めて楽しむ姿も見られます。今年は毛虫被害があったためか、葉っぱに毛虫がかじった穴が開いて、「（穴が）顔の形に見える！」と大発見をした子がいました。保育者が「ほんとだ！面白いね！」という、「僕も探してみよ！」と穴に注目した葉っぱ探しを何日か続けて楽しむことができました。たくさん葉っぱが集まったので、子ども達の大好きな絵の具を使って制作も楽しみました。

毛虫による被害で木に立ち寄れないこともありましたが、偶然起きた自然現象の中にも子ども達にとっては大発見であり、興味関心が心の中でたくさん生まれているのだと感じました。ハプニングこそ学びのチャンス！子ども達と共に、いろんな気持ちを共有していきたいです。（健康的な心と体、自然との関わり・生命尊重、豊かな感性と表現）